

**2008年 第1回 四国リーグ王座決定戦 アトムズ 優勝**

- 1 参加チーム 香川県代表 **土器川リーグ アトムズ** (宇多津)  
 愛媛県代表 **サファイヤリーグ バッカス**  
 徳島県代表 **夜間リーグ 選抜チーム**
- 2 大会開催趣旨 各県リーグ間の交流を目的とする
- 3 開催日/場所 3月2日(日) 小松島市営球場(小松島市)
- 4 開会式 8:30より行う (雨天中止の場合、当日 AM6:00に決定する)
- 5 試合形式
- ① 第一試合は開会式終了後より各チームシートノック約10分終了後9:30開始を目安とする。
  - ② リーグ制で7回とし、コールド無し、時間制限有りとする。
  - ③ 試合は9人制で行いDH制は有りとする。
  - ④ ベンチ入り選手は25人とする(監督、コーチ、マネージャーは別とする)。
  - ⑤ ユニホームは統一とする。ただしその他は規定は無しとする。
  - ⑥ 試合球は新ボールマルSとする。
  - ⑦ 試合前のオーダー表はカタカナで記入し、試合開始30分まえに出すこと。
  - ⑧ ヘルメット(打者、走者)キャッチ道具一式は必ず着用する事。
  - ⑨ 7回で同点の場合無死満塁の設定ゲームをする。
  - ⑩ ファーボールは試合を行っているチームで処理する。
  - ⑪ 勝利数が同じ場合は、得失点差、得失点が同じ場合は総失点、総失点も同じ場合は抽選。



6 試合結果リーグ表

	徳島 選抜	アトムズ	バッカス	勝 敗	順位
徳島 選抜		① 0 — 4	③ 11 — 0	1 — 1	2
<b>アトムズ</b>	① 4 — 0		② 5 — 0	2 — 0	<b>1</b>
バッカス	③ 0 — 11	② 0 — 5		0 — 2	3

- 7 表彰 **優 勝** トロフィー 香川代表 (D L) **アトムズ** (宇多津)
- (賞状有り)
- |         |            |                      |
|---------|------------|----------------------|
| 最優秀賞    | 優勝チーム1名    | アトムズ <b>三宅 光和</b> 選手 |
| 優秀選手賞   | 2位のチームから1名 | 徳島 夜間リーグ選抜 選手        |
| フェアプレイ賞 | 3位のチームから1名 | 愛媛サファイヤリーグ バッカス 選手   |

**2009年** 第2回 アトムズ 不参加

**2010年** 第3回 ゴジャース 3位

**2011年** 第4回 アトムズ 2位



# 2012年 第5回 四国リーグ王座決定戦 ゴジャース 優勝

香川県代表 ゴジャース (代)      土器川リーグ  
 愛媛県代表 松山デューク      サファイアリーグ  
 高知県代表 アレックス高知      高知黒潮リーグ  
 徳島県代表 グローリー      B-1 リーグ

1回戦 9:00~

チーム	1	2	3	4	5	6	計
グローリー	3	0	0	0	0	0	3
ゴジャース	3	0	0	1	0	×	4

ピッチャー 楠      1時間40分時間切れ  
 キャッチャー 梶原

- 1回表 2四死球から3失点
- 1回裏 四球、パスボール絡み3得点
- 4回裏 相手エラーから2番山下のタイムリーで勝ち越し

決勝戦 15:00~

チーム	1	2	3	4	5	6	計
アレックス	0	2	0	0	1	0	3
ゴジャース	1	0	0	3	1	×	5

ピッチャー 楠      1時間40分時間切れ  
 キャッチャー 梶原

- 1回裏 1番峯元の盗塁から3番塩入の犠牲フライで先制
- 2回表 四球からみでの2失点
- 4回裏 ランナーを抱えて交代した相手ピッチャーから6番豊久の走者一掃タイムリー
- 5回裏 2番山下出塁のあと、6番豊久のタイムリー、その後両者白熱した接戦を見せるが、最後までピッチャー楠が力で押し切る！

## スターティングオーダー

打順	守備	氏名	背番号
1	6	峯元 駿介	23
2	5	山下 慶次郎	16
3	1	塩入 裕貴	6
4	9	四角 大輔	24
5	7	西岡 宏	1
6	8	豊久 将人	8
7	2	梶原 真也	10
8	4	四角 康祐	14
9	1	楠 純一郎	17
控		馬場 広貴	29

二連投の  
 P. 楠 純一郎



最優秀選手  
豊久 将人



やったで！！ V V 土器川 ごじゃ～だ！！



### 総評

当日、気温が6℃ほどまでしか上がらず、雨と曇りの冷たい1日。すべての選手達には厳しい1日となりましたが、全員野球というチームワークで勝ち上がることが出来ました。

(記 馬場 広貴)

2013年 第6回 J-SUZUKI 雨天現地中断

2014年 MOSEBY 雨天中止

2015年 ゴジャース(代) 雨天中止



### 中四国大会への参加(出場権)について

2021(37-1)代表者会議にて決定

- 優先順位 ↓
- 1 → I部 王座決定戦の優勝チーム が参加
  - 2 → I部 シーズン1位チーム が参加
  - 3 → I部 シーズン2位チーム が参加
  - 4 → 優先チームを中心に、混成 での参加

☆ 参加の可否は 当該チーム で決定 とする。

★ 中四国大会の担当役員は当該チームと相談・協議の上、左記1～4の選択に関与し、世話をする。

**2016年 第7回 中四国リーグ王座決定戦 アトムズ 優勝**

- 1 参加チーム 香川県代表 **土器川リーグ アトムズ**  
 岡山県代表 **岡山草野球連合 ミラクルスターズ**  
 徳島県代表 **イツキスポーツ オールブラックス**
- 2 大会開催趣旨 各県リーグ間の交流を目的とする
- 3 開催日/場所 3月20日(日) 丸亀市民球場(コカコーラスタジアム)
- 4 結果



順位		香川 (アトムズ)	岡山(ミラクルスターズ)	徳島(オールブラックス)
1	香川		○	○
2	岡山	●		○
3	徳島	●	●	

総評) 3試合とも1点差ゲームが多く、チーム間の力量差はほとんどない。土器川リーグでいえば、I部上位クラスのレベルだ。

**1回戦**

	1	2	3	4	5	6	7	計
<b>アトムズ</b>	0	0	0	0	2	0	0	<b>2</b>
ミラクルスターズ	0	0	0	0	0	0	1	1

勝利投手 久保 言穰

評) 両チームともエース同士の投げ合いとなり、ランナー出してもタイムリーに繋がらない典型的な投手戦となった。1点を争う緊迫したゲーム展開であったが、わずかな隙を突いたアトムズが逃げ切った。

**2回戦**

	1	2	3	4	5	6	7	計
オールブラックス	0	2	0	0	1	0	2	5
<b>アトムズ</b>	3	0	1	0	1	0	1	<b>6</b>

勝利投手 入江 風太

評) アトムズは全員野球の攻撃型に持ち込むも、最終回に同点とされた。しかし、後攻有利でサヨナラ勝ちとなった。

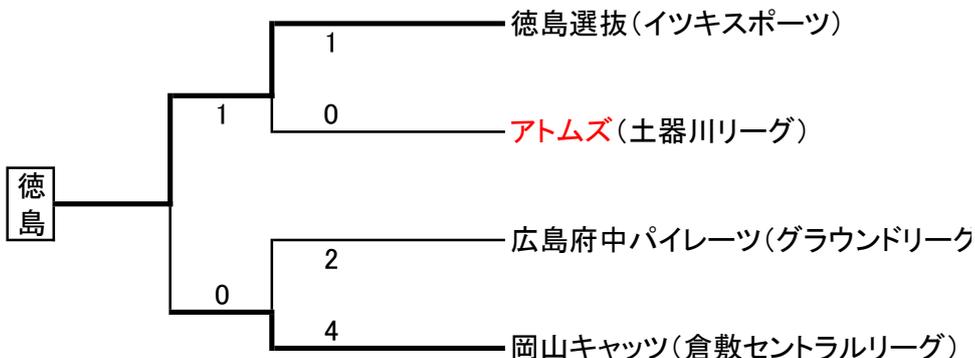


2017年 第8回 アトムズ 参加

2018年 第9回 アトムズ 参加

2019年 第10回 アトムズ 参加

2020年 第11回 アトムズ 参加



### 中四国大会への参加(出場権)について

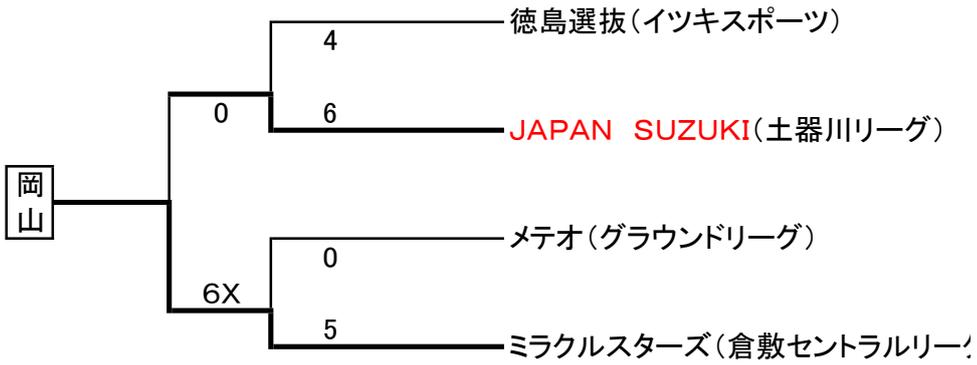
2021(37-1)代表者会議にて決定

- 優先順位 1 → I部 王座決定戦の優勝チーム が参加  
↓  
2 → I部 シーズン1位チーム が参加  
3 → I部 シーズン2位チームが参加  
4 → 優先チームを中心に、混成 での参加

☆ 参加の可否は 当該チーム で決定 とする。

★ 中四国大会の担当役員は当該チームと相談・協議の上、左記1~4の選択に関与し、世話をする。

2021年 第12回 JAPAN SUZUKI 準優勝



JAPAN SUZUKI の皆さん



1試合 2本のホームランを打った 藤本 将 選手



**2022年** 第13回 MAX WEST 参加

初戦で広島県チームに、0-3で、惜しくも敗れる

